
妻西中キャラ めにしちゃん

学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を
もった妻沼西中生を育む学校

発行　熊谷市立妻沼西中学校
電話　048(588)1361
FAX　048(589)0496
令和8年10月19日
第14号（後期始業式）

先駆けて咲く幻の桜～熊谷桜

校長　清水 利浩



熊谷の名前を冠し、そして幻の桜といわれる「熊谷桜」という桜があります。このたび「桜ファンクラブ」の皆様のご協力で、**この熊谷桜を、妻沼西中学校の中庭に植えていただくことになりました。**ここで、熊谷桜について調べてみました。

・Q1　なぜ、熊谷桜という名前がついているのか。

熊谷桜は、「クマガイザクラ」と読みます。開花期が、3月中旬と、ソメイヨシノより早く咲きます。他の桜に比べて早く咲く（＝先駆けて咲く）ことから、平安時代末期の武将、熊谷次郎直実が一の谷の戦いで、平山季重と先陣を争ったことにちなんで「熊谷桜」と名付けられました。

・Q2　熊谷桜は、江戸時代の書物にも紹介される有名な桜といいますが。

江戸時代の前期に活躍した貝原益軒（かいばら えきけん）という人が記した『大和本草』という書物に熊谷桜が紹介されています。

・Q3　熊谷桜の花は、どのような特徴があるのか。

樹の高さも花の大きさも控えめ。花は、淡い紅色です。花弁は、小さくまとまり、八重咲きの花です。

・Q4　熊谷桜は、「幻の桜」ともいわれます。なぜですか。

かつて熊谷市の石上寺の境内などに多くの熊谷桜があり、美しく咲き誇る姿が昔の図絵にも残されています。しかし、第二次世界大戦の熊谷空襲によって、熊谷桜は、全て焼き尽くされてしまいました。こうしたことから、「絶滅した幻の品種」とされていました。「桜ファンクラブ」の皆様の調査によって、平成5年、茨城の農場に生き残っていた熊谷桜が発見されました。そこから接ぎ木をして苗木を増やす地道な活動によって、現代に復活を遂げました。

こうした歴史と復活に向けた努力の結晶である熊谷桜をいただくことになりました。「桜ファンクラブ」の皆様に感謝するとともに、早く妻沼西中学校に咲く「熊谷桜」をみてみたいものです。

＜参考＞ ○ ※貝原益軒（かいばら えきけん）は、江戸時代前期（1630 年～1714 年）に活躍した福岡藩の儒学者・本草学者（植物学者・薬学者）です。

※「貝原益軒アーカイブ」（中村学園大学ホームページ）には、『大和本草』の原文が掲載されています。この「巻十二 木之下」に、「熊谷櫻」の項があります。「高さ尺に過ぎずして花さく 長して45尺に過る 彼岸櫻に先立て八重の好花ひらく 枝のかたちは櫻に似て彼岸櫻には似ず 櫻のさきがけ也 別種なり 花色白く少紅を帯たり」と記されている。

※『気仙沼に熊谷桜を植える会 10周年記念誌「千穐楽から未来へ」』令和7年3月